

---

# Keetra Dean Dixon

2211113 福島葵

---

## 01 プロフィール

生年：1977年 アラスカ州アンカレッジ生まれ

学歴：Minneapolis College of Art and Design 卒業（グラフィックデザイン）

Cranbrook Academy of Art（MFA修了）

活動歴：元RISD（ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン）教員

Museum of Arts and Designでアーティスト・イン・レジデンス

キャリアの特徴：アラスカの山小屋で個人制作活動も行う  
ニューヨークを中心に活動



## 02 ジャンルと活動スタイル

領域	内容例
タイポグラフィ	手作業による立体文字、ワックスや金属など素材を活用
インスタレーション	人が触れたり動いたりすることで完成する作品
体験型アート	参加者が“つくる”プロセスを楽しむ構造
ハイブリッド表現	手工芸とデジタル、彫刻とサインデザインの融合



### 03 代表作品



#### 「Layered Wax Type: And Yet」 (2011年)

蝋とアクリル絵具による立体文字作品  
Walker Art Center (2011) および  
Cooper-Hewitt 展出品



#### 「Museum As Manufacturer」 (2013)

Museum of Arts and Design (NYC)  
での「実験的ものづくり」プロジェ  
クト

## 04 主な受賞・収蔵・展覧歴

### 受賞歴：

- ・ 2008年：ADC Young Guns 選出（若手デザイナー賞）
- ・ 2009年：STEP Magazine "Emerging Talent"

### コレクション収蔵：

- ・ サンフランシスコ近代美術館（SFMOMA）

### 展示歴：

- ・ Venice Architecture Biennale（2008）
- ・ Cooper Hewitt Design Museum
- ・ Walker Art Center

### 公共プロジェクト：

- ・ 2009年：オバマ大統領就任式関連ヴィジュアル制作
- ・ 2012年：ロンドンオリンピック関連アートワーク

## 05 表現の特徴と哲学

「友好的で誠実なナンセンス」(Friendly, Sincere Absurdism)

→ ユーモラスで一見不思議だけど、温かみのある体験

クラフトと生成の融合：

→ 手作業でありながら、偶発性やシステム性を重視

観客の参加を前提とする構造：

→ 見るだけでなく、触れて・動いて・完成する作品